

第9回 鶴岡市地域医療を考える市民委員会

期 日 令和3年12月10日(金)

時 間 午後1時30分～3時30分

場 所 鶴岡市役所 別棟2号館
21、22、23号会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 説明・報告・協議

(1) 事務局説明

鶴岡市地域医療市民アクションプラン体系(案)について

事務局 鶴岡市 地域包括ケア推進室

(2) 協 議

鶴岡市地域医療市民アクションプラン体系(案)について

- ・10年後(2031年)の鶴岡市の“地域医療の未来像”について
- ・10年後の鶴岡市の地域医療の未来像に向けた「3つの市民アクション」について
- ・「地域医療を学び考えアクションを起こすための市民勉強会」のコンセプト(基本方針)について

4 そ の 他

5 閉 会

第9回 鶴岡市地域医療を考える市民委員会 名簿

(敬称略)

NO	組織等	役職	氏名	備考
1	からだ館 にこにこ倶楽部		キタカゼ スミ 北風 寸美	
2	元鶴岡市私立幼稚園・認定こども園連合会保護者会		キムラ ヒロユキ 木村 博之	
3	元鶴岡市立荘内病院 ボランティア		サウ アケミ 佐藤 明美	
4	鶴岡市公立保育園保護者会連絡協議会	会 長	サウ ジュンイチ 佐藤 順一	欠席
5	株式会社 瀬尾医療連携事務所	代表取締役	セオ リカコ 瀬尾 利加子	
6	元朝日地域保健委員会		ツチダ ミカコ 土田 三香子	
7	関根いきいき体操講座	代 表	ハラダ トウシロウ 原田 藤四郎	
8	もみじが丘	施設長	ホンマ ショコ 本間 志保子	
9	山形県看護協会		ホンマ ユウコ 本間 優子	
10	つるおかオレンジサポートの会	代 表	マンマ マサヒロ 真島 正博	
11	鶴岡市介護保険事業者連絡協議会 居宅支援事業者部会	幹 事	ミスグチ ヒデシ 水口 英俊	

コーディネーター

慶応義塾大学 環境情報学部	教 授	アキヤマ ミキ 秋山 美紀	
---------------	-----	------------------	--

オブザーバー

鶴岡地区医師会	会 長	フクハラ アキコ 福原 晶子	
鶴岡地区歯科医師会	副会長	ムカエダ ケン 迎田 健	欠席
鶴岡地区薬剤師会	会 長	スズキ テハル 鈴木 千晴	
鶴岡市立荘内病院	病院事業管理者	ヤギ ミル 八木 実	
鶴岡市立荘内病院	院 長	スズキ サトシ 鈴木 聡	

鶴岡市	市 長	ミカワ オサム 皆川 治	
-----	-----	-----------------	--

第9回 鶴岡市地域医療を考える市民委員会

座席表

日時: 令和3年12月10日(金)
13:30~15:30
場所: 鶴岡市役所 別棟2号館
21、22、23号会議室

スクリーン

ホワイトボード

パソコン席

瀬尾委員長

秋山コーディネーター

入口

プロジェクター

北風 寸美
委員

木村 博之
委員

佐藤 明美
委員

土田三香子
委員

原田 藤四郎
委員

福原 晶子
鶴岡地区医師会長

鈴木 千晴
鶴岡地区薬剤師会長

本間 志保子
委員

本間 優子
委員

真島 正博
委員

水口 英俊
委員

八木 実
荘内病院病院事業管理者

鈴木 聡
荘内病院 院長

佐藤 正 佐藤清一

クア地域推進室
主査

地城推進室
推進

渡邊 健 佐藤 豊

健康部長

荘内病院事務部長

今野一夫 土田信一

荘内病院事務課長

荘内病院地域連携室主任

三浦 巧 伊藤 健

クア地域推進室
主事

地城推進専門員

齋藤 芳 富樫 清

クア地域推進室
主査

荘内病院地域連携室長補佐

報道関係者席

傍聴席

受付

入口

鶴岡市地域医療市民アクションプラン体系(案)への意見について(宿題)

令和3年12月10日 現在

NO		◆宿題1 10年後(2031年)の鶴岡市の“地域医療の未来像”の案文または文言ならびにキーワードなど	◆宿題2 <コンセプト(基本方針)>の案文、または文言ならびにキーワードなど	◆宿題3 10年後の鶴岡市の地域医療の未来像に向けた「3つの市民アクション」の案文、または文言ならびにキーワードなど
1	委員	<よりそう医療> <おもいやりの地域医療> デジタル化を進め中央の医療や世界の情報が得られる環境にする	デジタル(リモート)等を取り入れ市民の勉強会に繋げる。	障害者、高齢者共に考え行動する仲間を増やす。
2	委員	地域医療の充実を周知し、地域の魅力の一つとしてアピールする。	学び考えた事を広く拡散(アナウンス)する。 アンケート調査の結果をふまえ、市民の声への回答を示す。	広く伝える。
3	委員	<こころ通い合う地域医療> ・市民が安心して適切な医療が受けられている。 ・荘内病院を中核とした関係機関の連携により、安心して医療が受けられる環境が整っている。	市民、医療関係者、行政と一緒に学び考え実践する。	3つの文書、変更ありません。
4	委員	・住んでる地域や年齢、性別等がありますが、全市民が平等に受けられる医療体制が良いと思います。 ・医療を受ける＝お金がかかる現状を少しでもおさえて、体調が悪かったらすぐに病院に行けるようになれば良いなと思います。	・体調悪くて我慢して行動し、周りに広めるよりはすぐに病院に行く、勇気と行動力が必要だと思います。 ・自分自身を家族、友達等、関わる人達が医療が身近であってほしいです。	・自分たちが受けやすい医療を考えたい。 ・鶴岡市民、1人1人が笑顔になれる地域医療が良いと思います。
5	委員	<こころ通い合う地域医療> ・市民と医療者が互いに理解・信頼しあい適切な医療を受けることができる。 ・荘内病院を中核とした関係機関の連携により、将来にわたって安心して医療を受けることができる環境が整っている。	順番を変えるといいかなと思いました。 1.市民・医療関係者・行政と一緒に学び考える。 2.鶴岡市の地域医療の現状や仕組みを正しく理解する。 3.在宅での看取りまで支える地域包括ケアを正しく理解する。 4.地域医療から考えるまちづくり、人づくり。	自分ごとで考え、みんなで行動する ような文言でそろえたいかがでしょう。 ・みんなで地域医療の現状や仕組みを理解しよう。 ・自分が受けたい医療を考えよう。 ・ともに考え、行動する仲間になろう。
6	委員	・市民が健やかで幸せな生活を送るため、適切な医療を受けられている。	<語尾の統一> ・鶴岡市の地域医療の現状や仕組みの正しい理解。	<このままで>
7	委員	信頼、尊敬し合う。生きる支え。心が満ち足りる。	現状や仕組みについて情報発信する。	仲間を増やし共に行動しよう。
8	委員	地域住民が守り育てる、鶴岡の医療		①自分の身体や健康についてよく知り、自分たちが受けたい医療を知ろう。 ②自分も家族も地域も健康で過ごせるよう、共に行動する仲間を増やそう。 ③医療、福祉、健康づくりが一体となる地域医療連携の仕組みを理解しよう。 (市民アクションなので具体的に示した方がよいかと思ひまして…)
9	委員	・すみなれた場所で適切な医療が安心してうけられる。 ・医療(介護=医療だけだと介護という文言は不要か…)連携したサービスが提供され、切めない… ・地域で支えあう体制が構築される。	・鶴岡市の地域医療の構築に市民一人ひとりが参画できるように…	
10	委員	内科でも循環器科、呼吸器科、消化器科を専門的に周知してもらいたい。テーマについては、提案どおりでよい。		
11	委員	・地域住民がお互いに信頼し合い…	・広く住民に意見・要望などの声を受け止め…	・地域住民の医療連携ができる
12	オブザーバー	・安心・安全で適切な医療が受けられる街	・かかりつけ医を持ち、ホームドクターとして何でも相談できる関係を作り上げる。 ・医療に対し、自分の考えをはっきり持てるような理解を深める。	・他都市と比較するのではなく、鶴岡市として最上の地域医療を考える。 ・自分で選択する医療との関わり方。
13	オブザーバー	<こころ通い合う地域医療> 市民と医療者がともに助け合い、安心できる持続可能な地域医療を実現する <地域の基幹病院たる荘内病院> 地域医療の担い手の中心として、荘内病院がその使命を十分に果たしている	3つ目の○:地域医療の視点からまちづくり、人づくりを考える。 4つ目の○:在宅での療養・看取りを視野に入れた地域包括ケアを理解する。	(変更ありません)

第2次鶴岡市総合計画（計画期間：2019年度～2028年度）

全世代全対象型の地域包括ケアの推進

地域医療市民アンケート

- 〔目的〕
- ・ 地域医療の現状と課題を把握する
 - ・ 地域医療に対する市民の意識を把握する
 - ・ 市民勉強会の取組の評価と二一スを探る
 - ・ 定期的に実施し、現状や課題、意識の変化を把握し、課題解決に向けた取組に繋げていく

2032 第3回調査

2027 第2回調査

2022 第1回調査

10年後（2031年）の鶴岡市の“地域医療の未来像”

- ＜ 市民ひとりひとりが安心できる地域医療 ＞
- ＜ 市民と医療者がこころ通い合う地域医療 ＞
- ＜ 地域住民が守り育てる地域医療 ＞

市民アクションの場

＜地域医療を学び考えアクションを起こすための市民勉強会＞

＜コンセプト（基本方針）＞

- 市民・医療者・行政が一緒に学び考え実践する
- 鶴岡市の地域医療の現状や課題、仕組みを正しく理解し、解決策を共に考える
- 在宅での療養・看取りを視野に入れた地域包括ケアを理解する
- 地域医療の視点からまちづくり、人づくりを考える

【第4ステージ（2029～2031年度）】
参加者のつながりによる活動の展開

【第3ステージ（2026～2028年度）】
参加者を結びつけ、ともに考える

【第2ステージ（2023～2025年度）】
地域医療の良き理解者を増やす

【第1ステージ（2022年度）】
市民勉強会の立ち上げ

10年後の鶴岡市の地域医療の未来像に向けた「3つの市民アクション」

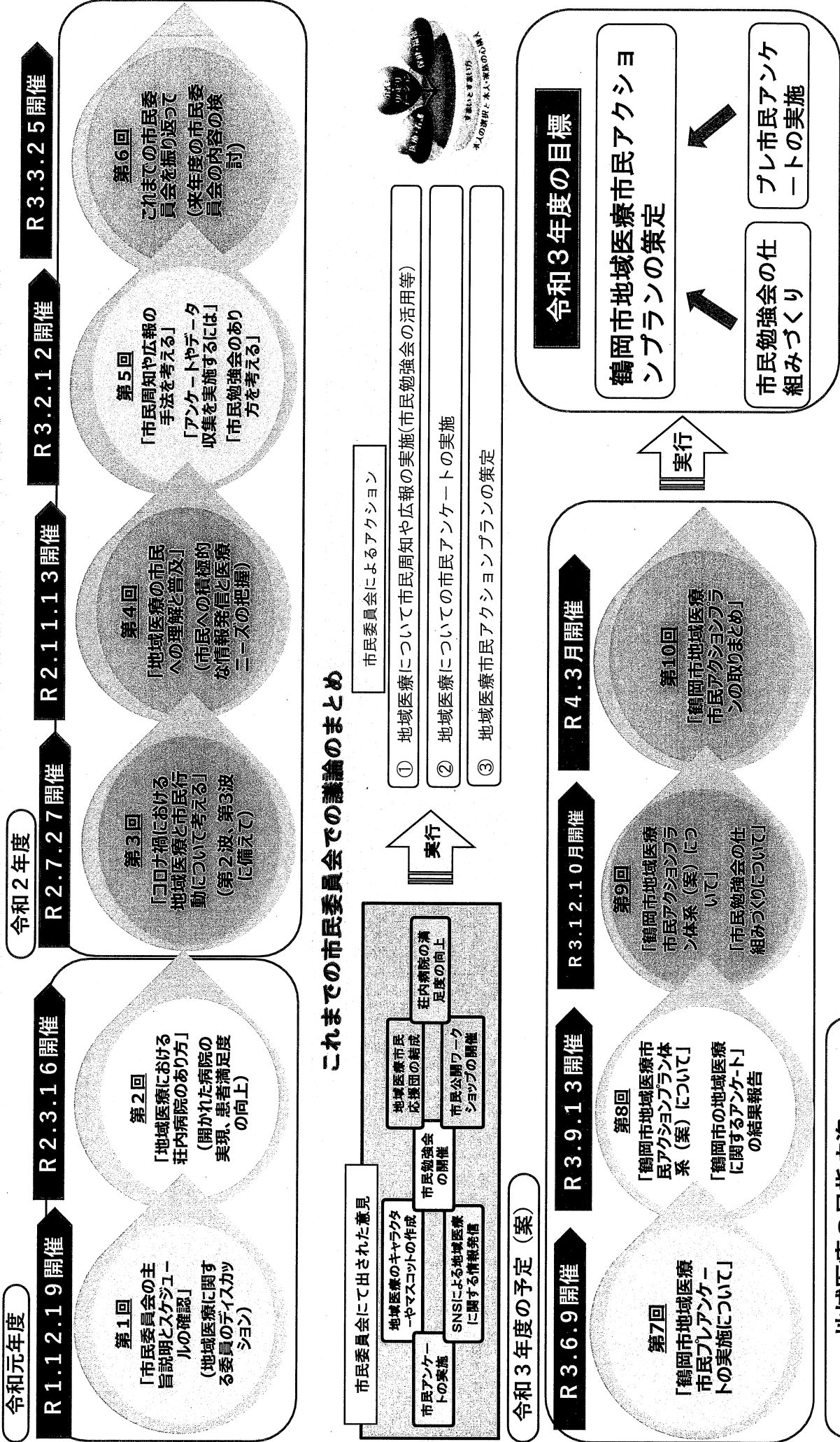
地域医療を支える連携の仕組みを理解しよう

自分たちが受けたい医療を考えよう

ともに考え、行動する仲間になろう

鶴岡市地域医療を考える市民委員会 3か年スケジュール

R3.12.10



地域医療の目指す姿

＜ 市民ひとりひとりが安心できる地域医療 ＞

＜ 市民と医療者がこころ通い合う地域医療 ＞

＜ 地域住民が守り育てる地域医療 ＞